

流行怖いインフルエンザ

99年本県で31人が死亡

厳しい寒さが続いています。梅の便りもちらほら聞かれるような季節になってきました。

この季節の例年1、2月は、インフルエンザが猛威を振るう時期ですが、今年は今のところ比較的穏やかなようです。

このインフルエンザは、38度を超える発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が突発的に現れることや、流行すると多くの死者が出ることなどが普通の風邪と異なる大きな特徴といわれています。

過去にさかのぼってみますと、1918年から1919年（大正7年から8年）にかけて、世界中で「スペイン風邪」といわれるインフルエンザが大流行し、実に2千万人から4千万人もの死者が出たと推測されています。日本でも約40万人の方が亡くなっています。

ちなみに当時の日本の人口は約5,600万人でしたから、インフルエンザは直接死にかかわる恐ろしい病気であったわけです。

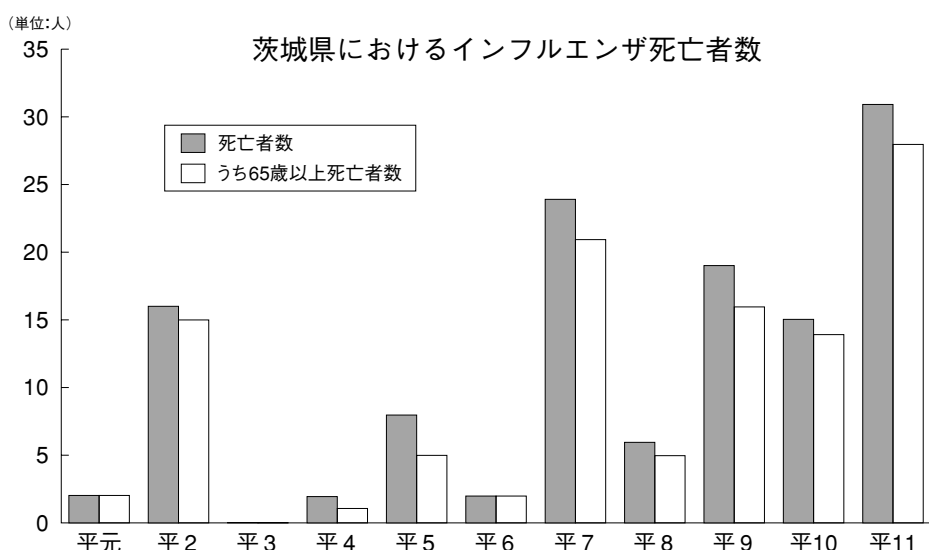
その後、世界ではおおよそ10年おきに流行を繰り返していましたが、ワクチンの開発をはじめとする医療技術の進歩などにより、インフルエンザによる死者は大幅に減少しています。

最近では、1999年に流行し、ワクチン接種を受けようとしても病院にワクチンがないという状況や学級閉鎖が相次いだことなどが報道され話題となった年ですが、この年に日本で亡くなった方は1,382人でした。

このとき、本県では31人の方が亡くなっていますが、このうち高齢者が実に9割を占めておりました。インフルエンザの予防にはワクチン接種がもちろん効果的ではありますが、日常生活では、十分な睡眠とバランスの良い食事を取ることに心掛けるほか、外出時にはマスク、帰宅時にはうがい・手洗いの励行をお勧めいたします。

（県統計課）

平成13年2月10日掲載



出典：平成元年～平成5年 茨城県衛生統計年報
平成6年～平成11年 茨城県保健統計年報

※「ふるさとおもしろ統計学」は第2、第4土曜日、茨城新聞に掲載されています。

全国一の本県農業人口

高齢化で減少続く、大規模農家は大幅増

まだまだ寒い日が続きますが、春の足音も徐々に聞こえてきて、これから本格的に農作業を行う風景も数多く見られることと思います。今回は県内の農家の様子を昨年2月に実施した2000年世界農林業センサス結果（概数）からみてみましょう。

まず、県内の総農家数ですが、12万8千戸で、長野県（13万6千戸）に次いで全国第2位となっています。農家人口（農家の世帯員数）は58万8千人で全国第1位、農業従事者数（満15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に農業に従事した者）は33万9千人で、長野県（39万2千人）、新潟県（34万3千人）に次ぎ全国第3位となっています。この結果をみると、茨城県が全国有数の農業県であることがよく分かります。

しかし、今回の数値を前回1995年の数値と比べてみると、総農家数は1万2千戸（前回農家数から8.6%減）、農家人口は6万5千人（前回人口から10.0%減）、農業従事者数は1万3千人（前回従事者数から3.8%減）それぞれ減少しています。年齢構成をみると、65歳以上の高齢者数が前回

より4.0%増加し、農家人口に占める割合も27.3%と前回より3.6ポイント増加しており、高齢化が進んでいます。

一方、自給的農家（経営耕地面積が30アール未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家）は95年に比べて833戸（前回戸数から3.5%増）増加しています。

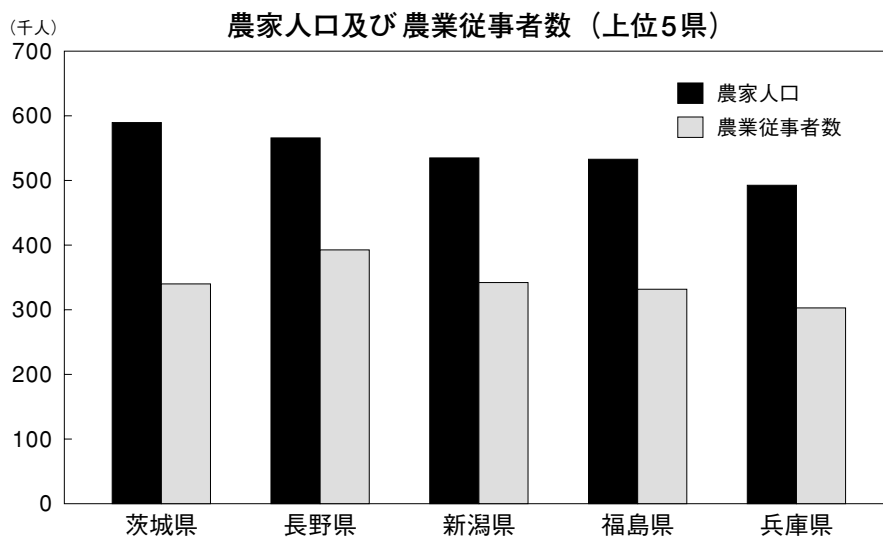
また、経営耕地面積（実際に耕作している面積）は減少していますが、大規模農家（特に5ヘクタール以上）は436戸増（前回農家数から32.7%増）の1,771戸と大幅に増加しています。

将来に向けて、農家がより生産性を向上させていこうとしているようです。

農家人口が減少し高齢化の傾向はありますが、茨城県の農業粗生産額は全国第3位、これからもみなさんのご家庭の食卓が茨城県の農産物でさぞにぎわうことでしょう。


（県統計課）

平成13年2月24日掲載



資料：2000年世界農林業センサス（概数）

※「ふるさとおもしろ統計学」は第2、第4土曜日、茨城新聞に掲載されています。

【新着資料案内】  【新着資料案内】

この資料は、平成13年1月中に行政情報センターに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 茨城県庁舎3階 TEL 029-301-2152

行政資料名	編集・発行所(者)	行政資料名	編集・発行所(者)
中央省庁関係		茨城県関係	
国勢調査 平成12年 全国都道府県市区町村別人口	総務省	賃金・労働時間・雇用の動き, 茨城県 平成11年	統計課
事業所・企業統計調査報告 平成11年 第1巻 全国編	〃	茨城県の児童・生徒の体格と疾病 平成12年度	〃
事業所・企業統計調査報告 平成11年 第3巻 会社企業(全国)編	〃	市町村合併推進要綱, 茨城県	地方課
商工業実態基本調査報告書 平成10年 第10巻	経済産業省	職員安全衛生管理の概要 平成11年度	職員課
財政統計 平成12年度	財務省	交通安全実施計画、茨城県 平成12年度	生活文化課
生活時間とライフスタイル	日本統計協会	災害の記録 平成11年	消防防災課
都市交通年報 平成11年版	国土交通省		

編集後記

最近の携帯電話は、インターネットをしたり、ゲームをしたり、音楽を聞いたりと様々な機能がついています。しかしそれらに熱中している最中、電話がかかってきて中断され、残念な思いをすることもしばしばあります。電話が本来の機能のほずなのですが。多機能化も困りものです。

(T.I)

統計いばらき 2001. 3 No.562

平成13年3月発行

編集兼発行／茨城県企画部統計課
茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市笠原町978-6

電話 029-301-2637

FAX 029-301-2669

印刷所／富士オフセット印刷株式会社